

GEヘルスケア・ジャパン、高感度プローブ搭載の  
「LOGIQ S8 with XDclear」、 「LOGIQ E9 with XDclear2.0」発売  
～表在部から深部までより明瞭に、OLEDワイドモニターの採用で視認性も向上～  
(2015/10/8)

### ●「LOGIQ S8 with XDclear」「LOGIQ E9 with XDclear2.0」製品特長

- ・浅部や深部の画質向上を実現する「XDclearプローブ」を2種搭載  
腹部一般用の「C1-6-Dプローブ」と浅部用の「C3-10-Dプローブ」の搭載  
により、浅部や深部の画質向上を実現。一台で多様な質の高い検査を  
可能とする。
- ・22インチのOLEDワイドモニターで高画質  
22インチのOLEDワイドモニターを採用。ワイドで見やすい画面により、  
モニターを横から見る際にも画像認識が容易にできるようになる。  
さらに、コントラスト分解能が大幅に高くなったことから、従来の液晶  
(同社製品比)が苦手としていた黒色のコントラストをより鮮明に  
高画質で実現する。
- ・センサー内蔵プローブの充実によりFusion表示が容易に  
プローブに3種のセンサー(C1-6VN-D, C2-9VN-D, C2-7VN-D)を内蔵  
することにより、センサーの取り付け作業を省略。スムーズなFusion  
表示を可能とする。
- ・「Share Wave Elastography」技術が組織の硬さを推定  
組織内のせん断波の伝搬速度を測定し、色と数値で表示し組織の  
硬さを推定する「Share Wave Elastography」技術を搭載。肝臓の線維化  
診断への応用が期待されている。



LOGIQ S8 with XDclear (左)  
LOGIQ E9 with XDclear2.0 (右)